



本日〈10月1日〉のプログラム

- ◆ 斉 唱 「君が代」「奉仕の理想」
 - ◆ 献 立 週替わり弁当
 - ◆ 卓 話 「紙芝居」 1. スタルヒンと駒沢野球場
2. いざ鎌倉へ
- 演者 小川正徳様、盛田佐保子様、海江田佳子様、
石渡高子様、浅倉信次様



写真提供 小池 将夫

会長挨拶

小山 市康 会長

会員の皆様は今年度の「年間プログラム予定表」を眺め、新型コロナの状況がいつになったら落ち着くのか?と思っていたことでしょうか。今年度は7月9日ガバナー公式訪問と7月22日東京オリンピック開会式の祝日など例年になくスケジュールで始まったことから、新年度挨拶を8月第3週までと当初から計画していました。しかし8月からの緊急事態宣言発令で例会をやむなく中止することになりました。例会再開が10月1日になり7月から3ヶ月も経ってこのタイミングで新年度挨拶をやるのか、挨拶もなく活動を開始するのか、とお叱りを受けるかもしれません。苦渋の選択の結果、会報特別号に未発表の各委員長の新年度挨拶を掲載することに致しました。

不要不急の外出を控えコロナ禍で在宅時間が増え、もう無理、もう限界、もう嫌と心から叫びたくなる方もいるかもしれません。緊急の事態に直面すると様々な要素に視線が移り、物事の

本質を見失うことがあります。基本に立ち戻り冷静に判断することが必要です。

企業でいうと第1四半期はその年度の下地となり、その内容は注目すべき大事な時期であります。ロータリークラブも同様に、一年間を航海するにあたり大きな荒波にあっても耐えられるように会員一同一致団結する大事な時期であったと感じます。今年度のために練り上げた各委員会の活動計画を皆で共有し、今後の活動に生かしていただきたく思います。

新型コロナウイルスのワクチン接種がある程度進んだことで、経済は急速に回復するかと期待はされますが、世界的な変異株の流行で先行きは再び不透明になっています。まずはクラブとして例会を従来通り早く復活させ、今後予測される新型コロナウイルス第6波が来る前に各委員会を中心に対策を練り上げていきたいものです。

2021-2022年度 RI会長 シェカール・メータ



奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために

第2590地区 ガバナー 小倉 正

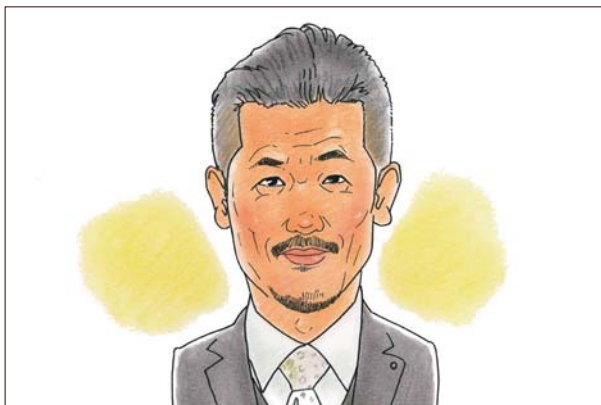
会 長	小 山 市 康	会 計	渡 邊 淳
会長エレクト	赤 堀 伽寿一	副 会 計	長 野 毅
副 会 長	横 溝 亘	S A A	古 澤 一 憲
副 会 長	加 藤 仁 昭	副 S A A	加 野 亮 一
幹 事	友 添 辰 哉	副 S A A	吉 田 隆 男
副 幹 事	馬 場 佳 子	クラブ会報	清 水 茂 夫

例会日 毎週金曜日 0:30~1:30 PM (第5金曜日6:00 PM)
 例会場 ホテルキャメロットジャパン
 URL <http://www.kanagawahigashi.com/>
 E-mail kerc@beach.ocn.ne.jp

事務局 ホテルキャメロットジャパン内
 〒220-0004 横浜市西区北幸 1-11-3
 TEL: 045-314-3900 FAX: 045-314-3555
 創立記念日 昭和51年5月29日

新年度挨拶

◆出席委員会 委員長 北村 大輔



今年度、出席委員長を仰せつかりました北村です。西山副委員長・山木会員・月山会員・飯田会員・須永会員の大先輩方と活動をしてまいります。

今年度、小山会長より例会出席はロータリー活動の原点となり、出席率90%以上を目標にと、またメイクアップの励行やクラブ協議会・クラブフォーラム・IM・地区大会などの出席率向上にも努めるよう言われております。

例会への出席はロータリーの義務とされておりますが、例会がつまらなくて出席意欲も湧かないと思いますので、会員が例会に出席したくなるようなもっと楽しく有意義な時間に出来るよう、プログラム委員会には様々な卓話者を呼んで頂き、私も副委員長を務めております親睦活動委員会では矢野委員長と共に会員の交流の場を作って、出席率の向上に協力して行けるよう連携を取って目標達成に繋げて参りたいと考えております。

出席率維持・向上のためメイクアップについての情報やメイクアップのツアーなども考え、Eクラブの活用なども発信してまいります。

また、例会を欠席された方に出席委員会よりご連絡をし、例会出席の連絡とメイクアップツアー参加のお誘いをさせていただきます。

出席率90%以上を目標にしておりますが、未だコロナ禍が続いている状況での例会になります。会員一人一人が健康を第一に考え体調の良いときは無理な出席をなさらず、感染予防を徹底しながら体調の良い体で例会に出席して頂きますようお願い致します。

一年間、どうぞ皆様ご支援ご協力のほど宜しくお願い申し上げます。

表紙の写真 T6



「彼岸花」別名は「曼珠沙華」。
中国大陸原産の植物ですが、秋のお彼岸の頃に突然に花茎を伸ばして鮮やかな花が開花します。
日本の秋の季節にはなくてはならない代表的な野辺の花ですね。

【写真提供 小池 将夫 会員】

◆職業分類・会員選考委員会 委員長 西山 潔



この度、小山市康会長より2021～22年度の職業分類・会員選考委員会委員長を拝命致しました西山潔です。副委員長には、以前職業分類表を綿密に精査された、山本登会員、委員には山木幹夫会員、天野公史会員、という心強い布陣で一年間活動させていただきます。

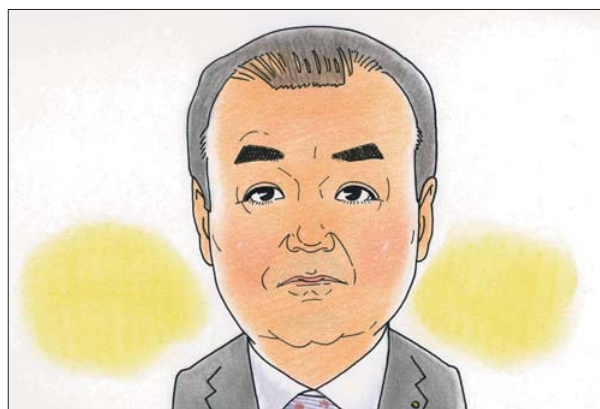
今年度のクラブ方針であります「奉仕活動の喜び、明日へつなげよう」を達成すべく、職業分類表の再確認を行い、今の時代に則した変更、追加を検討して参ります。

現在、職業分類は119業種、42業種が充填され、未充填が77業種となっております。今後、未充填業種を公表し、できる限り充填される様に会員増強委員会と共に全力を上げて目指す所存でおります。ロータリーの神髄は異業種が原点である、という会長の意向を実現すべく努力致します。

会員選考に関しましては、入会候補者の審査や受け入れを迅速に行う様に致します。選考には、会費納入、例会出席、奉仕の精神、協調性等、歴代委員長の行われました基準を参考に進めたいと考えております。

最後になりましたが、今年度一年間、会員皆様方の御指導、御協力を心よりお願い申し上げます。

◆クラブ会報委員会 委員長 清水 茂夫



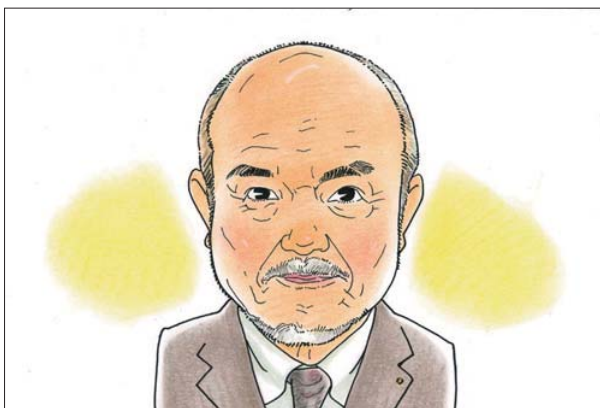
クラブ会報委員会では、例年の仕様を踏襲し、毎週のスムーズな発行を目指して行きます。また、委員会メンバー、事務局田中さんにもご協力頂き、当クラブの楽しい雰囲気が伝わる紙面を作っていけたらと考えております。

内容につきましては、慶事のお知らせ、卓話の紹介、次回例会の内容、スマイルの現況等もございますが、その時々タイミングに合ったトピックや会員の皆様にご興味やお考えを記していただく機会ももち、会員同士の相互理解が深まるきっかけになれるように目指してまいります。

今年度の表紙の写真につきましては、小山会長、角田会員、小池会員にご協力頂き掲載させて頂きます。写真のコメントと合わせてお楽しみ下さい。また、写真撮影でのお願いですが、アクリル板の反射防止の為、正面からではなく斜めからの撮影とさせて頂いております。皆様のご協力をお願い致します。

拙い委員長ですが頑張っておりますので、宜しくお願い致します。

◆親睦活動委員会 委員長 矢野 修二



今年度、親睦活動委員長を務めさせて頂く矢野でございます。副委員長には北村さん、清水さん、そして委員にはパスト会長を含め、ベテランの月山、植田、金森、小池、角田、天野、池田、田邊、田中、角野、我妻、白鳥、中野、川崎、長野のメンバーで、一年頑張りたいと思います。

私がかねてからロータリーの一步は親睦からはじまり、親睦で終わると思います。今年度は暗い風を吹き飛ばし、夢に向かって追い風で行きたいと思います。皆様が楽しみにしている家族会もコロナの関係もありますが、出来れば楽しく、盛大にやりたいと思います。どうぞ皆様のご協力を切にお願い致します。クラブ全員でつくる親睦を目指します。四つのテストをベースにします。

◆雑誌委員会 委員長 河野 明光

国際ロータリー(RI)本部で編集・発行しているRIの機関誌が『The Rotarian』であり、『ロータリーの友』はロータリー地域雑誌である。この地域雑誌は全世界に31誌あり、其々発行地域のロータリークラブやロータリアンの活動を紹介するとともに、『The Rotarian』から指定された記事を、その地域で使われる言語に翻訳して掲載しています。

地域雑誌としての『友』はロータリアンがロータリーライフを深めるためにも、またクラブがRIと直結していると実感するためにも必要な媒体と言えるでしょう。



しかし時に、『友』は「面白くない」との意見も耳にしますが、この雑誌の主たる目的が各々のロータリアンがロータリーについて知識の広がりや深まりを増すための機関誌である以上、あくまでも「ロータリアンとしてどうか」が、「面白い」や「面白くない」の議論より優先した判断となるべきことで、各人の私的興味を満足させることがこの機関誌の発行目的では無いことを、改めてご理解いただく事が肝要であろうと思っています。

今年度も『友』はもとより、『ガバナー月信』に関しても興味深い記事が目に残ればご紹介して参ります。また、紹介の方法を従来の「横記事、何ページの・・・」と言った記事紹介に留まらず、その記事を一部朗読することで記事内容を印象付け、クラブ会員の講読意欲をさらに高められないかと期待しております。

どうぞ会員皆様には当委員会へのご理解とご協力のほど、宜しくお願い申し上げます。

◆会員増強委員会 委員長 池田 広樹



今年度のガバナーテーマにおいては「クラブ基盤のさらなる充実強化」、当クラブのクラブ活動計画においても「会員増強」とございますので、クラブの会員皆様のお力を借りて取り組みたいと思っています。

7月16日に委員会を開催した際には、

- ・コロナ禍で積極的なコミュニケーションは取りづらいがお互いに気をかける
- ・新入会員を増やすことも大事だが、退会者を減らせるように例会のときには少しでもお声かけを皆様でできるような
- ・入会年度の若い会員同士の自己紹介を積極的にする

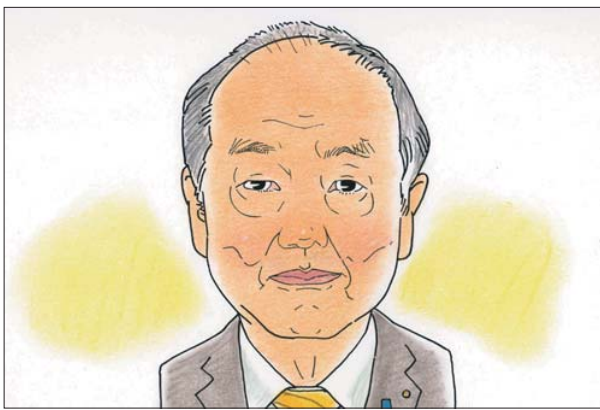
などのご意見を頂きました。

本年度も「新入会員を増やす」、「退会者を減らす」が両輪になりますが、どちらも会員同士がコミュニケーションを積極的にとることが重要でありますので、親睦委員会など他の委員会とも連携して取り組みたいと考えております。

また、加野前年度委員長が取り組まれたことについては継続していく予定であります。特に入会年度の若い会員同士で例会の前後30分ほど時間をとってお互いの仕事やロータリーのことを話すという取り組みについては積極的に活用し、クラブ全体のコミュニケーション活動の一助になり、会員増強に繋がれるように活動してまいります。

会員皆様のご協力をよろしくお願い致します。

◆広報・IT委員会 委員長 小池 将夫



今年度1年間、広報・IT委員会を天野会員、大橋会員、茂木会員、川崎会員の5名で担当しますので、よろしくお願い致します。

世界中が“コロナ禍”にあって、通常の社会生活が営めない今日、私たちロータリアンも例会をはじめ様々な活動に制約を受けています。そのような中でも特に対外的な奉仕活動はその影響は著しく、担当委員会の皆様も大変ご苦労されていることと思います。

ワクチン効果、様々なコロナ対策が功を奏して一日も早く平常なロータリー活動に戻ることを願わざるを得ません。

「私たちの委員会は如何に活動すべきか？」

…一年間の活動計画では…

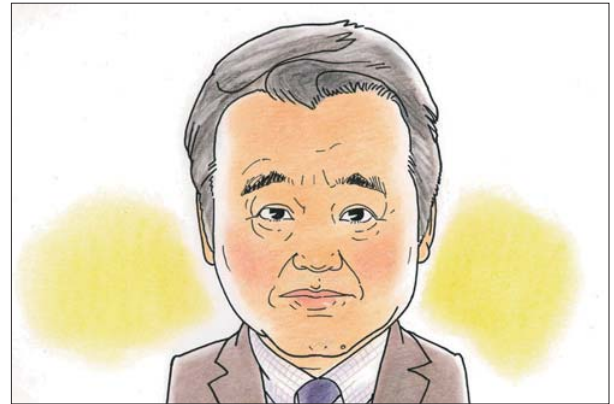
1. 自クラブの活動を対外的にアピールする。特に奉仕部門について、「タウンページ」や報道機関を通じて広く広報が出来るように方策を検討する
2. ロータリーの既存の手段を有効に活用し、活動の輪を広げる
3. クラブのホームページの改善を検討・実践する

…会員の皆様にお願ひ…

私たちロータリアンは、自らの活動でより良い社会を、そして人々の幸せな生活のためにクラブの「奉仕活動」を実践していますが、一般市民の皆様にも、より広く理解を頂き、活動への協力と参加を頂ければ、私たちの小さな奉仕も大きな社会活動

の輪に繋がっていくことと思います。そこで、会員の皆様にもご協力を頂き、身近で、また職域等での口頭を含めてのPRを頂ければ幸いです。よろしくお願い致します。

◆R情報・研修委員会 委員長 田中龍太郎



本年度、ロータリー情報・研修委員長を仰せつかりました田中です。副委員長には、伊東会員、委員として飯田会員、加藤会員に入っています。コロナ禍の現状からの出発です。例会の回数も減り、会員同士のコミュニケーションも少なくなっており、況して新入会員の方々は非常に戸惑っている状況かと思えます。

当委員会としては、新入会員の方々へのオリエンテーションとして、ロータリーの基本情報を学ぶ勉強会を時機を見て開催したいと考えています。その際には、吉田ガバナー年度に上梓された「ロータリーガイドブック」を活用したいと思います。勿論、会員の皆様でまだお読みでない方は是非目を通してください。読みものとしても楽しめるものとなっています。

また、会員の皆様には、My Rotaryへの登録をお願い致します。ロータリーの様々な情報を得ることができます。

ロータリーの研修プログラムとして、地区の「ロータリーリーダーシップ研究会」(RLI)が開催される折には是非参加してみてください。

お願いばかりになってしまいましたが、ロータリーに参加している意味を一緒に考えていきましょう。一年間どうぞよろしくお願い致します。

◆ロータリー財団委員会 委員長 白鳥 厚夫



本年度のロータリー財団委員会は、私白鳥が委員長、副委員長に超ベテランの石川さん、委員に我妻さん、加野さんと4人構成になっております。

ロータリー財団は、ご存じのように地区補助金・グローバル補助金、奨学生・V T T、R 平和センター等多分野にわたる活動をしています。活動の財源は、皆様からの貴重な寄付から成り立っております。是非内容のある活動を理解して頂き通年通り、ご支援して下さいたら有難いです。宜しくお願い致します。

◆今年度寄付目標

- ・年次寄付 150ドル以上/一会員
- ・ベネファクター 2名
(既に小山会長、石川R財団副委員長よりご寄付を頂きました)
- ・ポリオプラス 30ドル以上/一会員

要するに最低1人2万円のご寄付を重ねてお願い致します。

◆米山記念奨学委員会 委員長 角野 弘幸



今年度、米山記念奨学委員長を仰せつかりました角野です。副委員長に田邊正彦会員、委員に吉橋佐千男会員というベテランのお二人と1年間頑張っております。

米山記念奨学事業は、将来、世界と日本の懸け橋となる人材、また、ロータリー活動のよき理解者となる人材を育成するため、留学生を支援する事業で、当事業は会員の皆様の寄付によって成り立っています。

今年度の寄付目標は、会員一人当たり普通寄付5,000円、特別寄付20,000円とさせて頂き、これを達成するために、会員の皆様の当事業へのご理解を深めていきたいと思っております。

既に例会時に寄付の受付をさせて頂いておりますが、緊急事態宣言の発出に伴い、2カ月間例会が開催されておりません。例会再開の折には、あらためて寄付のお願いをさせていただきますので、皆様方のご理解、ご協力のほど、よろしくお願い致します。

また、今年度は、韓国から留学し9月で卒業されました李受倫さんの世話クラブとなっております。コロナ禍で例会の開催が少ない時期でしたが、カウンセラーを務めていただいた馬場会員をはじめ、会員の皆様のサポートに感謝申し上げます。

◆戦略計画委員会 委員長 山田 正憲



新年度が始まり既に3ヶ月を経過しましたが、コロナ禍による緊急事態宣言発令に伴い例会も開催できない状況が続きました。

このような状況を鑑み、まずはクラブのデジタル化に向けてどのような対応が必要か検討するとともに、一般会計と奉仕会計のアンバランスの是正を考えていかなければなりません。

また、ある金融機関ではSDGsに関連して「女性行員の制服を廃止、男性行員はノーネクタイを基本として必要がある場合にはネクタイを着用する」という取り組みをこの秋から実施するそうです。例会時等の服装について過日行ったアンケートでは上着・ネクタイ着用とカジュアル化が半々でしたが、今後どのように変化していくか見極める必要があります。

そして、小山会長からはクラブ細則の変更を検討したいというお話しがあり、将来を見据えクラブの現状に適した細則を考えていきたいと思っております。

これら以外にも今後クラブが取るべき方策を話し合っていきます。

9月度定例理事会開催

9月10日(金)、9月度定例理事会をオンライン(ZOOM)にて開催。12名の理事・役員の皆様にご参加頂き、不具合もなくスムーズに会議を進めることが出来ました。

ご参加下さいました皆様、ありがとうございました。



ロータリーニュース

コロナに負けない：立ち上がる世界各地のクラブ

1年半前から続いている新型コロナウイルスの世界的脅威に伴い、ロータリーもしばらくの間、活動の休止を余儀なくされました。2020年3月には、『Rotary』誌も5月号の印刷をいったん中止し、2019-20年度R I 会長マーク・マローニー氏の新しいメッセージを挿入することになりました。

「3月初旬には、世界各地で新型コロナウイルスのニュースが日に日に大きく取り上げられるようになりました」とマローニー氏。「ロータリーはすべての地区とクラブに対し、追って通知があるまでは対面式の会合を中止し、オンライン形式に変更するよう要請を出しました」。その後、ロータリーの活動を再開させたマローニー氏は、「世界が急激な変化を遂げる中で、ロータリーもまた大きく変わらなければなりません。私たちの順応性と強さなら、この局面を乗り越えることができるはずです」とメッセージに綴りました。

世界各地のロータリアンがマローニー氏のこの呼びかけに応え、行動を開始しました。中には、メッセージが発信される前から活動を考えていたロータリアンもいました。5月号が会員の手元に届く頃には、多くのクラブがすでにオンラインで例会を行い、世界各地の会員は医療従事者や困窮する地域社会やコロナ禍の影響を最も受けている人びとに対して、地元での支援活動に乗り出していました。

2020年6月には、新型コロナウイルス関連のプロジェクトをまとめた記事を初めて発行。また7月には、『Rotary』誌に寄せた初のメッセージで、2020-21年度R I 会長ホルガー・クナーク氏は「大きな挑戦はすべて再生と成長のチャンスである」と述べています。同号では、ロータリーと、世界ポリオ根絶推進活動（GPEI）のパートナー団体がそれぞれの経験を生かしてコロナ禍にどう対応してきたのか、その取り組みが特集されています。また8月号には、自身への健康リスクをも顧みず、支援や癒しを与えるために世界の最前線で積極的に活動する10人

（ロータリアン9人、ローターアクター1人）のストーリーが紹介されました。

以来、『Rotary』誌では各クラブが編み出した独創性のある方法を紹介してきました。その多くがロータリー財団の補助金を得て進められています。6月の時点で、2,700万ドルを超えるグローバル補助金が新型コロナウイルス対応の活動に充てられ、さらに災害救援補助金からも約800万ドルが充てられました。

「ロータリーならできる」とマローニー氏とクナーク氏が断言した通り、私たちはこの状況に適応しています。コロナ禍にあっても、ロータリアンとローターアクターは世界に変化をもたらし続けています。アフリカでの野生型ポリオウイルスの根絶を達成したほか、ロータリーの新しい重点分野に「環境」を加えました。また、今年初めには、アフリカ初となるロータリー平和センターに平和フェローが入学しました。

この1年間、みんなが力を合わせてあらゆる困難を乗り越えてきた結果、私たちも成長し、新たな課題への挑戦や、新しいスキルの習得につながっています。ロータリーも変化を遂げた今、さらに多くの変化を経験していくことになるでしょう。シェカール・メータRI会長は、2カ月前に発信した自身の最初のメッセージで、会員に向けて次のように述べています。

「ロータリアンにとって、克服できない難題というものはありません」

ロータリーニュース

次回〈10月8日〉の予定

「神奈川台場と横浜の歴史保存について」

公益社団法人 神奈川台場地域活性化推進協会 理事長
山本 博士 様
(紹介者 鴻 義久 会員)

例会0回

8月度出席報告

ホームクラブの例会がすべて休会のため、メイクアップは回数を表記しております

名誉会員

出席率算除外会員

会 員	メイクアップ	ホームクラブ	会 員	メイクアップ	ホームクラブ	会 員	メイクアップ	ホームクラブ	会 員	メイクアップ	ホームクラブ
青柳 紀	0	—	川崎 典子	1	—	友添 辰哉	1	—	吉田 隆男	0	—
赤堀 和人	1	—	北村 大輔	0	—	中野 真理	0	—	吉橋佐千男	0	—
天野 公史	0	—	小池 将夫	1	—	長野 毅	0	—	我妻 隆邦	0	—
飯田 泰之	1	—	河野 明光	0	—	西山 潔	0	—	渡邊 淳	1	—
池田 広樹	0	—	小山 市康	1	—	馬場 佳子	1	—	富居 利貞	0	—
池宮 寿治	0	—	清水 茂夫	0	—	古澤 一憲	0	—			
石川 正三	0	—	白井 康夫	0	—	茂木 知子	0	—			
伊東 英紀	0	—	白鳥 厚夫	0	—	森永 健	1	—			
植田 清司	0	—	須永 久一	0	—	矢野 修二	0	—			
鴻 義久	0	—	角野 弘幸	0	—	山木 幹夫	0	—			
大橋 秀行	0	—	田口健太郎	0	—	山崎 善也	0	—			
岡部雄一郎	1	—	田中龍太郎	0	—	山田 正憲	1	—			
加藤 仁昭	1	—	田邊 正彦	0	—	山本 登	0	—			
金森 欣一	1	—	月山 勇	0	—	山本 芳弘	0	—			
加野 亮一	1	—	角田 伯雄	0	—	横溝 亘	1	—			
月平均											—